

■「第10回記念総会に寄せて」 JVC シニアクラブ会長 菅沼 喜久次

「JAM・ビクター高齢者退職者の会」（通称 JVC シニアクラブ）は、2002年10月5日に、60人の会員を以って結成されました。



今日満9年の活動経過を経て、この度第10回の総会開催を迎えひとつの節目と捉え「第10回記念総会」と位置付け、それなりの意義をもった定期総会にすべく、幹事会に於いて協議の結果、会員相互の交流親睦をより深めることに留意し、一泊二日の旅行を兼ねて開催することとしました。

当初は初めての企画でもあり、多くの心配と課題の解消に懸念を抱きつつ、具体化のために協議を重ね、より多くの会員参加が可能なものとする、ということから時期・場所・参加費等々を考慮し、10月18日～19日の日程で「草津温泉と秋の白根山ツアー」を含む定期総会の開催を決定しました。

総会参加者は例年通常の参加者とほぼ同様の55名の申し込みがあり、当日までに諸事情による取り消しが出て、49名にて開催することが出来ました。総会においては活動報告・決算報告・2012年度の活動計画・予算を夫々満場一致で承認・可決されました。

当日の二日間は、会議・草津の街散策・温泉にタププリ浸かった後の懇親会・ビンゴ・カラオケ・深夜に及ぶ歓談の内に一日目を終え、翌日は秋の白根山ツアーを楽しみ、参加者の皆さんからも大変な好評のうちに、無事終了することが出来ました。初めての行事でしたが、幹事を初め参加会員のご協力のお蔭と厚く感謝を申し上げます。

今回の記念総会一連の行動に示された、JVC シニアクラブの団結力を背景に、10年目以降の活動に、自信を以って邁進してまいりましょう。本当に有難う御座いました。



第10回記念総会参加者 2011.10.18 草津温泉「ホテルニュー紅葉」前にて

■第10回記念総会報告

草津温泉「ホテルニュー紅葉」にて10月18日（火）13:30開会。君塚労組委員長を来賓として迎え、総勢49名の出席者で開催。

浅見会員を議長に選出して議事は進行、報告事項および活動方針は承認されました。

活動報告の中では、①JAMシニアクラブ本部で菅沼会長が長年の活動に対する功勞で表彰されたこと、②当日総会参加の白岩会員が、4月の統一地方選挙で同じ会員である西川誠之さんの流山市議当選のために多大な支援活動をされたことが紹介され、③吉村会員には、多くの仲間をシニアクラブに誘って、組織拡大に貢献したことに対して感謝状の贈呈が行われました。

今年度の活動方針については、①日本ビクターで同じ仲間として働いた者同士の心のよりどころとしてのシニアクラブ組織をさらに強化すること、②上部組織であるJAMシニアクラブや高退連などの活動にも参加しながら横の連帯を広げること、③会社の名前も変わり、現役も新たな対処が求められる中、情報交換を密にしてその動向に関心を持って注視していくこと等が確認されました。

第10回総会議案書を今一度、お目通しいただき内容をご確認願います。



ホテルニュー紅葉

■「学習講演会と懇親会」が開催されました（7月28日、勤労会館）

神奈川シニア連合会長の新田 尊士氏（写真）を講師に招き、「社会保障政策と税の一体改革」について講演を頂きました。「国の借金が極度に増えて増税の動きがある中で、皆一人一人健康に留意して元気に生活することが大切」とのお話でした。参加者34名。



講演会終了後、健保の「大和荘」で参加者とともに懇親を深めました。この大和荘も9月末で閉鎖されてしまいましたが、皆で最後の名残を惜しみました。

■事務局から

- 1) 会員名簿の最新版を同封しました。前回のものと人員の増減がほとんどありません。この名簿をご覧いただき、会員相互の意思疎通をはかっていたくとともに、名簿に記載の無い知人・友人がいたら是非シニアクラブへの加入を誘ってください。
- 2) 現在のシニアクラブ役員の任期は、昨年開催の平成23年度総会で承認されて2年間となっています。副会長の百瀬 允秀さんが任期途中ですが、健康上の都合で役員退任を希望され、24年度総会で承認されました。百瀬さんはJVCシニアクラブ発足時から副会長を務めていました。今年度一年間は副会長2名から1名の体制となります。役員体制は同封の会員名簿4ページ下段でご確認ください。
- 3) 10月1日に「日本ビクター」という名の会社は解消されて、株式会社「JVCケンウッド」という会社に統合されました。会社や労組の今後の動向については労組幹部から直接話を聴く機会を設けて会員の皆様にお伝えしたいと思います。シニアクラブの行事に皆様の積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

事務局長 田代 周